

大谷大学フェア（東北）参加費無料



公開シンポジウム

テーマ **人が育つということ**

-地域・未来・寄りそい-

2018年 **8月26日（日）**

14：30～16：00



谷山 洋三氏

パネリスト

たにやま

谷山

あかざわ

赤澤

ようぞう

洋三氏

きよたか

清孝

（東北大学大学院文学研究科 准教授）

（大谷大学社会学部 准教授）



赤澤 清孝

コーディネーター／木越 康 大谷大学長

定員 **100名**

会場 **ホテルメルパルク仙台 2F ソーレ**

宮城県仙台市宮城野区榴岡5-6-51

（アクセス）JR 仙台駅東口より徒歩 10分

対象 一般・高校生・大学生・

大谷大学同窓生・大谷大学在学学生保護者

同日開催!!

12:30～16:00

大谷大学進学相談会

入試担当者が直接、高校生・社会人の皆さんの入試のギモンに応えます！

12:30～14:20

東北地区保護者懇談会（要申込）

成績・就職・学生生活等におけるさまざまな個別相談に応じます。

17:00～19:00（予定）

同窓会・教育後援会合同懇親会（要申込）

会場を移して懇親会を開催いたします。

会場：未定※人数により決定いたします。

会費：同窓生 3,000円

保護者 2,000円

共催：大谷大学／大谷大学同窓会／大谷大学教育後援会

問合せ・お申込み 保護者懇談会、合同懇親会は申込みが必要です。

保護者…申込締切 8月6日(月)※準備の都合上、締切りを早く設けております。

同窓生…申込締切 8月20日(月)※保護者、同窓生共に公開シンポジウムのみ場合は申込み不要

大谷大学校友センター（京都市北区小山上総町）

TEL 075-411-8124

E-mail kouyu@sec.otani.ac.jp

Be Real

講師略歴



たにやま
谷山 洋三

1972年金沢市生まれ

東北大学大学院文学研究科博士後期課程（印度学仏教史学専攻）修了。
専門は臨床死生学。

2000年より長岡西病院ビハラー病棟にビハラー僧として勤務。

四天王寺大学准教授、上智大学グリーンケア研究所主任研究員、大谷大学
研修員を経て、2012年4月より東北大学大学院文学研究科准教授（実
践宗教学寄附講座）。2017年4月より現職（宗教学・実践宗教学寄附
講座兼任）。真宗大谷派僧侶。

【専門】臨床死生学（スピリチュアルケア、宗教的ケア、グリーンケア）

主著書は単著『医療者と宗教者のためのスピリチュアルケア』（中外医学社）。
共編著『スピリチュアルケアを語る 第三集 臨床的教育法の試み』（関西学
院大学出版会）など。

主要論文は谷山洋三ほか「経文聴取による喪失悲嘆ストレスのケア」『仏教看
護・ビハラー』11号、151-165 など多数。

1974年兵庫県生まれ。

立命館大学大学院修士課程（政策科学研究科）修了。

2000年NPO法人きょうと学生ボランティアセンター
（現ユースビジョン）を設立し、代表に就任。

2014年4月に大谷大学文学部専任講師に就任。

2016年4月より現職。

2011に発生した東日本大震災では、NPOの専門性を活かして被災者、
被災地を支援する「被災者をNPO とつないで支える合同プロジェクト
（つなプロ）」、全国の大学と連携して岩手県沿岸市町に学生のボランティ
アを送り出す「いわてGINGA-NETプロジェクト」で事務局長を務め、
翌2012年から3年間、宮城県石巻市、南三陸町、気仙沼市にて、震災後
の復興・まちづくりに取り組む起業家の支援に取り組む。

【専門】公共経営学



あかざわ
赤澤 清孝

主著書は『京都発NPO最前線 一自立と共生の街へ』（共著・京都新聞社）、
『学校ボランティアコーディネーション』（共著・簡井書房）、『地域福祉の今
を学ぶ-理論・実践・スキル』（共著・ミネルヴァ書房）ほか。

主要論文は、「震災からの復興まちづくりに挑む起業家たち」（大谷大学哲学
会『哲学論集』第61号、21-37 など。

新しい大谷大学を象徴するメッセージ／「Be Real-寄りそう知性」

2018年4月より、大谷大学はこれまでの文学部に、新しく社会学部と教育学部を加えた「3学部体制」となりました。

それに伴い、大谷大学を象徴する新メッセージを作成しました。

「Be Real-寄りそう知性」です。

「Real」には二つの「実」の意味を込めます。一つは仏教でいう「真実」です。人間の思慮分別や価値判断が加わる前の世界、真理の姿を指し示す言葉。もう一つは目の前の「現実」です。社会問題や一人ひとりが経験する苦悩など、世の中に現れる具体的事象。そして「Be」は「足場をおく」、「成る」。

「Be Real」とは、真実を立脚地として、世の中の現実を生きていこうという態度を表す言葉であり、また、世の中の現実に向きあいながら真理を探究していこうという姿勢を表す言葉です。真実と現実とにしっかり足場をおいて、本来あるべき人間の姿、あるべき社会を探究し、創造していこうというメッセージが「Be Real」です。

そして「寄りそう知性」とは、「Be Real」をより具体的に表現したサブフレーズです。仏教の理念に基づく本学において、どの学部・学科で学ぶことになるうとも、学ぶことで得られる知性は「他者に寄りそう」ことになるはず。仏教の智慧は、必ず人間に慈悲を生み出す力となる。それが「寄りそう知性」です。

大谷大学長 木越 康